



令和元年度

# 木青連だより

[事業報告書]

長野県木材青壮年団体連合会



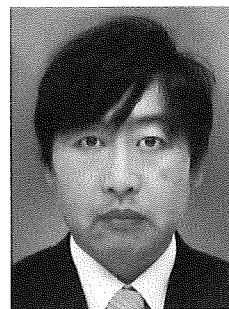
令和元年度

# 木青連だより

## 目次

ごあいさつ .....	長野県木青連 会長 田中 博文	1
令和元年度事業概要 .....		2
令和元年度会議・事業経過報告 .....		4
令和元年度組織図 .....		5
令和元年度出向者 .....		5
一年を振り返って .....	長野県木青連 直前会長 澁澤 一吉	6
	長野県木青連 代行副会長 大藏 俊介	6
	長野県木青連 副会長 田村 紘一	6
	長野県木青連 副会長 宮崎 淳貴	6
	日本木青連 北信越地区協議会 会長 中澤 勝成	7
	日本木青連 木材活用委員会 副委員長 田中 俊章	7
	日本木青連 広報委員会 副委員長 印出 晃	7
第42回長野県児童・生徒木工工作コンクール実施報告 .....		8
第42回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト .....		10
信州山の日イベント2019事業報告 .....		13
体験と学びの環境博事業報告 .....		14
信州バザール2019事業報告 .....		15
会団事業報告 .....	・北信木青連	16
	・東信木青連	17
	・松本材青会	18
長野県木青連理事会議事録 .....		19

# 今年一年をふりかえって



長野県木材青壮年団体連合会  
令和元年度会長 **田中 博文**

皆様にご協力を賜り、なんとか一年職務を全うし次の年にバトンをつなげることができました。ご協力いただいた皆様、支えていただいた皆様、すべての会員の皆様に心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

代行会長として17年ぶりに復会して2年、長野県木青連の理事として運営に携わらせていただきました。17年前に木青連に所属していた時は平会員としてとにかくよくわからず言われるままに活動していました。今回復会して地元会団長もやったことのないままいきなり県の理事会にやってきたわけですが、驚きの連続で先輩たちはこういう事をやっていたのか？と理解した事も多かったです。

すべての事に対して誰かに聞かないと会長としての決断もできない状況で、イニシアチブを取ることもまったくできず空回りばかりで、執行部の皆さんをはじめ会員の皆さんにも大変ご迷惑をおかけいたしまして、振り返ってみると非常に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

今年は亀山日本木青連会長がSDGs元年にしたいとの思いから、自分もいろいろな講演にも参加しSDGsに染まった一年だったなと思いますし、2月の北信越協議会地区大会in長野ではSDGsゲームを楽しめた事もあり、会員のみなさんにもSDGsがどんなものか？だいたい行きわたったんではないでしょうか？自分はこのSDGsを昨年3月に初めて聞き、自分なりに解釈して今年の長野県木青連のスローガンには『和を以て貴しとなす』と決めさせていただきました。もともと木青連綱領にも書かれていますが、新時代を迎えるにあたりさらに『和』を高め、相互の啓発につとめていきたいとの

思いです。奇しくも新年号は『令和』となり、和にスポットが当たった一年でもあったかなと思います。

最後になりましたが、今年一年大変貴重な勉強をさせていただきました。たくさんの仲間とも出会え素晴らしい一年だったと思います。

長野県木青連の会員諸君『ONE TEAM』でこれからも頑張っていきましょう！！

今年一年、本当にありがとうございました。

# 令和元年度事業概要

長野県木材青壮年団体連合会

令和元年度会長 田中 博文

## 会長指針

2019年は節目の年になりました。平成から令和へ。

日本の元号の歴史は、約1300年前にさかのぼります。最初の元号は「大化」。聖徳太子の息子一族を滅ぼした蘇我氏が討たれた事件「大化の改新」、あの大化です。ある調査では「新しい時代が平成よりも良い時代になる」と期待している人は6割以上になるそうで、自分もワクワクしながらラジオで菅官房長官の発表を聞いていました。新元号が発表された時の様子を見るに自分も何か新しい時代がやってくるような雰囲気とパワーを感じます。その世の中の雰囲気が景気にも新しい風を吹き込んでくるでしょう。2020年の東京オリンピックに向けますます経済活動が活発に推移することも見込まれています。

さて皆さんはSDGs(エス・ディー・ジーズ)をご存知ですか？

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。国連で採択された世界共通の17の目標で、2030年を期限に達成を目指します。

自分が生まれた1972年「このまま人口増加や環境汚染が続けば、あと100年で地球の成長は限界に達する」と言われました。世界の貧富の差はますます拡大。世界全体で貧困を解決し、食糧、教育など人間が生活するうえで最も基本的なニーズを満たすことが課題とされました。それから45年以上経ち、SDGsが誕生しました。SDGsの理念は「誰ひとり取り残さない」です。

貧困の解決・飢餓の解決・教育などの社会目標、気候変動・エネルギーなど環境目標、雇用・インフラ・生産と消費など経済目標に加え、不平等の解決・ジェンダーの平等・平和などが17の目標です。

日本企業でもSDGsを活用する動きが始まっています。これに対応することができれば、それはビジネスチャンスや新たな市場開拓につながります。SDGsという言葉はまだ知られていません。が、あと数年ではほぼ全ての人が知っている言葉になるでしょう。日本木青連でもこれを取り入れ、SDGsといたら木青連といわれるようにしたいとの目標があります。なかなか難しいし、まだまだ自分も勉強している途中ですが、ものすごく簡単に言うと、これは聖徳太子が目指した『和をもって貴しとなす』精神だと思います。そしてSDGsの目標も憲法の条文も同じ17です。

聖徳太子は今からおよそ1400年前に『十七条の憲法』を制定しました。これが記録に残る日本で一番最初の憲法です。そしてその一番最初に【以和為貴】と記しました。なぜ太子はこの条文を一番最初に記したのでしょうか？人々がお互いに仲良く、調和していくことが最も大事なことであるという教え。約1400年経っても今の世の中にも十分通じるものがありますし、奇しくも新しい年号にも『和』の文字が入っているのは偶然じゃないように感じませんか？

人と人、会社と会社、自然界と人間社会…等、世の中にはさまざまな調和があります。私はこの調和こそこれからの新しい世の中に、そして私たちの企業活動にとって一番大切なキーワードになると思います。4月より森林環境税や森林環境贈与税による森林整備、木材利用、地方雇用の増加等の効果が期待される一方、10月には消費税が10%に上がる予定でもあります。われわれ木青連全てのメンバーとの『和』でこの難しい時代を乗り切っていきましょう。

## スローガン

# 「以和為貴」

## 基本方針

1. 新しい時代、どうシフトしていけばいいか？皆で一緒に考えていこう
2. さまざまな『和=ハーモニー』を大切にしていこう

---

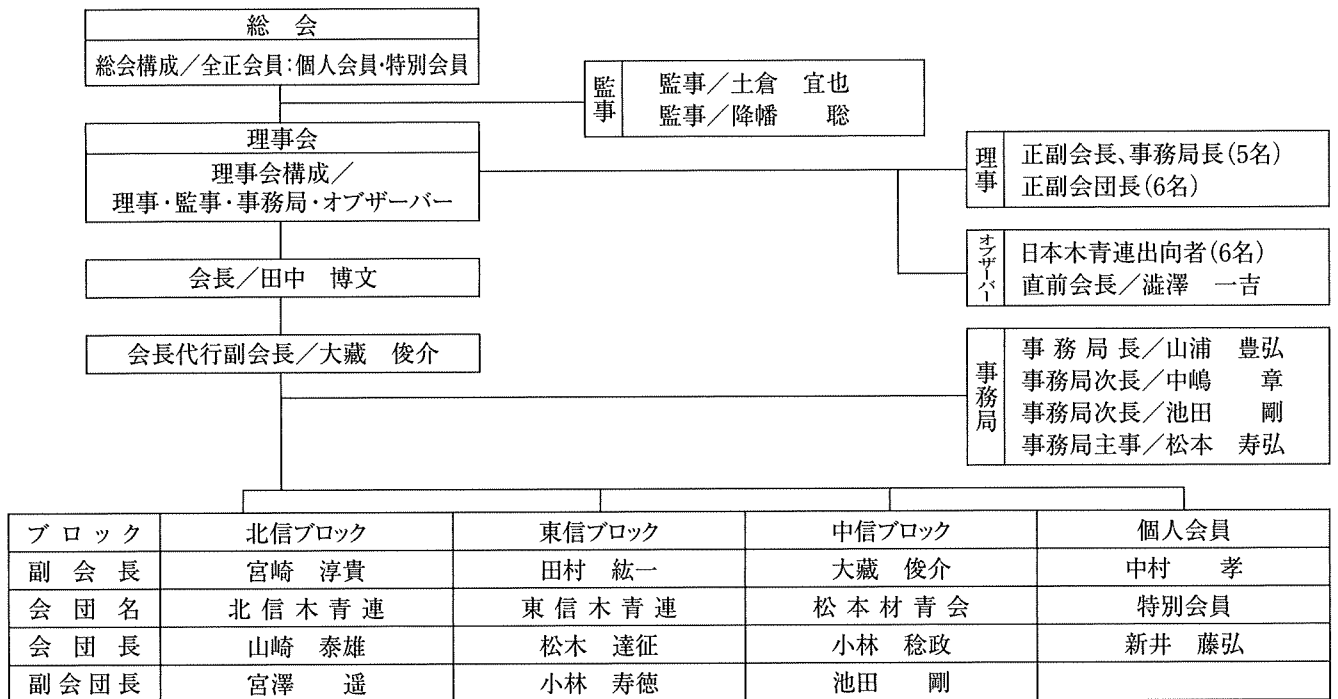
## 事業計画

- 【1】長野県木青連が基本方針に基づき、会員、単位会団、ブロック並びに関係諸団体と連携して行う会議
  - (1) 定時総会
  - (2) 理事会
  - (3) 県、中部森林管理局、関係団体との懇談会
- 【2】長野県木青連が主催し、各単位会団、個人会員に協力を依頼して行う事業
  - (1) 第60回県会員北信大会
  - (2) 第42回長野県児童・生徒木工工作コンクール
  - (3) PRカレンダーの斡旋
  - (4) 木工教室
  - (5) 会員拡大
  - (6) 木青連だよりの発行
  - (7) 木青連OB交流事業
- 【3】各単位会団、ブロックが主催し長野県木青連が協力して行う事業
  - (1) 木材PR事業
- 【4】日本木青連が主催し、各単位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業
  - (1) 第64回全国会員愛知大会
  - (2) 第44回全国児童・生徒木工工作コンクール
  - (3) 第23回日本木青連木材活用コンクール
  - (4) ウッディレターの配信
  - (5) 総会、理事会、委員会
- 【5】地区協議会が主催し、各単位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業
  - (1) 北信越地区会員大会
  - (2) 北信越地区協議会
- 【6】関係諸団体等が主催し、長野県木青連、ブロック、単位会団が協力して行う事業
  - (1) 長野県県産材振興対策協議会が主催する事
  - (2) 長野県木材協同組合連合会が主催する事業
  - (3) 長野県木材産業振興基金が主催する事業
  - (4) 県、中部森林管理局等が主催する事業

# 令和元年度 会議・事業経過報告

3月15日(金)	日本木青連 第1回理事予定者会議	東 京:江東区産業会館
3月22日(金)	正副会長・事務局引き継ぎ会議	長 野:林業センター
4月13日(土)	日本木青連 第1回理事会	東 京:江東区産業会館
4月19日(金)	長野県木青連理事予定者会議	上 田:ささや
4月24日(水)	松本材青会総会	松 本:ホテルモンタニュ
5月17日(金)	北信木青連総会	長 野:ホテルメトロポリタン長野
	東信木青連総会	佐 久:かいせん問屋ごう
5月25日(土)	長野県木青連 平成30年度臨時理事会	長 野:ホテル国際21
	長野県木青連 令和元年度臨時理事予定者会議	長 野:ホテル国際21
	第60回県会員北信大会	長 野:ホテル国際21
5月31日(金)	令和元年度 長野県木材産業政治連盟 通常総会	長 野:ホテル信濃路
	第61回長野県木材協同組合連合会 通常総会	長 野:ホテル信濃路
	令和元年度長野県木材協同組合連合会 表彰式	長 野:ホテル信濃路
6月7日(金)	長野県青連第1回定例理事会	上 田:ささや
6月13日(木)	県産材振興対策協議会	長 野:ホテル信濃路
6月21日(金)	日本木青連 第2回理事会	愛 知:ウインクあいち
6月22日(土)	第64回全国会員愛知大会	愛 知:ナゴヤキャッスル
6月24日(月)	長野県緑の基金評議委員会	長 野:林業センター
6月28日(金)	長野県木材産業振興基金総会	長 野:林業センター
7月12日(金)	長野県木青連 第2回定例理事会	上 田:ささや
7月13日(土)	日本木青連 第3回理事会	仙 台:東京エレクトロンホール宮城
7月27日(土)	信州環境フェア	長 野:ビッグハット
7月28日(日)	信州環境フェア	長 野:ビッグハット
	信州山の日フェスタ	駒ヶ根:駒ヶ根ファームス
9月14日(土)	日本木青連 第4回理事会	福 岡:天神チクモクビル
9月28日(土)	第1回北信越地区協議会in福井	福 井:福井市研修センター
10月11日(金)	第42回長野県児童・生徒木工コンクール審査会	松 本:松本合同庁舎
11月2日(土)	信州バザール	松 本:やまびこドーム
11月3日(日)	信州バザール	松 本:やまびこドーム
	木工工作コンクール 表彰式	松 本:やまびこドーム
11月16日(土)	日本木青連 第5回理事会	東 京:江東区産業会館
11月23日(土)	第2回北信越地区協議会in石川	金 沢:テルメ金沢
11月29日(金)	長野県木青連 第3回定例理事会	長 野:林業センター
1月18日(土)	日本木青連 第6回理事会	東 京:江東区産業会館
2月15日(土)	長野県木青連 第4回定例理事会	山ノ内町:湯田中温泉 よろづや
	日本木青連 北信越地区協議会 長野大会	山ノ内町:湯田中温泉 よろづや
3月6日(金)	日本木青連・第1回理事予定者会議	東 京:中止
3月26日(木)	長野県緑の基金評議委員会	長 野:書面表決
3月27日(金)	正副会長・事務局引き継ぎ会議	長 野:林業センター
4月10日(金)	長野県木青連・第1回理事予定者会議	長 野:書面表決
4月18日(土)	日本木青連・第1回理事会	東 京:WEB会議
5月18日(月)	長野県木青連 令和元年度臨時理事会	長 野:書面表決
	長野県木青連 令和2年度臨時理事予定者会議	長 野:書面表決

# 令和元年度 組織図



# 令和元年度 出向者

## 〈1〉日本木材青壮年団体連合会

常任理事 北信越地区協議会 会長 中澤 勝成 [北信木青連]  
 理事 会団長 田中 博文 [東信木青連]  
 理事 木材活用委員会 副委員長 田中 俊章 [東信木青連]  
 木材活用委員会 委員 峯村 亮 [北信木青連]  
 理事 広報委員会 副委員長 印出 晃 [松本材青会]  
 広報委員会 委員 大和 俊英 [松本材青会]

## 〈2〉日本木材青壮年団体連合会 北信越地区協議会

会長 中澤 勝成 [北信木青連]  
 県会団代表 田中 博文 [東信木青連]  
 県会団代表 大藏 俊介 [松本材青会]  
 県会団代表 山浦 豊弘 [東信木青連]  
 県会団代表 池田 剛 [松本材青会]

## 〈3〉長野県木材産業振興基金

理事 田中 博文 [東信木青連]  
 理事 大藏 俊介 [松本材青会]  
 評議員 田村 紘一 [東信木青連]  
 評議員 山浦 豊弘 [東信木青連]

## 〈4〉長野県県産材振興対策協議会

理事 田中 博文 [東信木青連]  
 幹事 山浦 豊弘 [東信木青連]  
 監事 大藏 俊介 [松本材青会]

## 〈5〉長野県木材産業政治連盟

副会長 田中 博文 [東信木青連]  
 委員 大藏 俊介 [松本材青会]

## 〈6〉(公財)長野県緑の基金

評議員 澁澤 一吉 [北信木青連]

## 一年を振り返って



令和元年度 長野県木材青壮年団体連合会  
直前会長

澁澤 一吉

昨年のこの時期に、会長職の集大成である「第60回県会員北信大会」を無事終え、以後は直前会長という立場で、田中会長がスムーズに会の運営を出来るようサポートしていければと思って活動してきました。例年通り滞りなく進んでゆくかと思った矢先(それこそ木工コンクール審査会の翌日)台風19号による東北信及び全国への水害により、地域の人達や会員の中にも甚大な被害がありました。しかしながら、地域の方々の協力やボランティアの方々の協力により、少しずつ復興が始まり明るい兆しが見え始めました。木工コンクール表彰式や、北信越地区協議会長野大会といった活動を行いつつ、新年度への橋渡しを始めていた所に、コロナウィルスショックによる緊急事態宣言という今までにない事例が発生してしまいました。このことによる経済活動への影響は計り知れず、今後どうなってゆくのかは誰にもわかりません。

リーマンショック以上の経済打撃に対して、木青連のみならず自社でさえどう対応していけばいいのか明確な解答は見つかりません。更に言えば、集まることさえ憚られる状況でどのようにしてゆけばよいのか…月並みなだけれども目の前の事を、こなしてゆくしかないのでしょうか。

そんな折、ふと木青連の綱領を思い出しました。「若い英知と情熱を結集し 不屈の精神を持って行動しよう」集まれなくても、今なら様々な方法があり、各会団・各県会団・日本木青連と大勢の仲間がいます。折角「おなじ世代の木材人として 交流を深め相互の啓発に努めよう」と言っているように、こんな機会だからこそ、今後大きく変わってゆく世の中を皆で考えあい、話し合い「木材業界の発展を通じ よりよい社会を建設しよう」を実践してゆければ良いのではないのでしょうか。



令和元年度 長野県木材青壮年団体連合会  
会長代行副会長

大藏 俊介

“以和為貴”

令和元年度田中博文会長の「以和為貴」のスローガンの下、代行副会長を務めさせていただきました。理事の皆様をはじめ、会員皆様のご指導とご協力のお蔭で、無事に一年を終えられるところまで来ましたこと、まずは心より御礼申し上げます。

同時に、いつお会いしても良い意味で変わらず、まさに「以和為貴」を体現してくれた長野県木青連の仲間たちを嬉しく感じると共に、常に良い刺激を与えてくれることに併せて感謝申し上げます。

代行副会長として、木青連活動に一年携わらせていただき、改めて我々の活動が行政をはじめ地域の皆様にも認知され、必要とされていることを実感する機会となりました。

我々が「木材界の発展を通じ、よりよい社会を建設しよう」という想いの下、「若い英知と情熱を結集し」、議論を積み重ねて行なった活動は、少なからず地域に何らかの波紋を投げかけ、

この地域の次代を担う子どもたちのためになっていると信じ、またいつの時代も「以和為貴」が重要な教えであると心に刻み、今後も活動に邁進していきたいと思っております。

年度末の現在、新型コロナウイルス感染拡大によって、全世界が未曾有の危機に晒されています。

人体や経済、そして我々木青連の活動にどのように影響を及ぼすのか、現状ではまだ計り切れませんが、世界中が混乱に陥ろうとも忘れてはいけないのが奇しくも「以和為貴」の精神ではないでしょうか。

令和2年度も「以和為貴・第二章」のつもりで、今我々に出来ることを為していきたいと思っておりますので、引き続きのご指導とご協力をお願い申し上げ、一年の締めくくりといたします。ありがとうございました。



令和元年度 長野県木材青壮年団体連合会  
副会長

田村 紘一

新年号「令和」となり、日本は新しい一歩を踏み始めました。

令和元年度、田中会長の下、財務担当副会長を務めさせていただきました。職務は理事会司会、総務、各イベントによる木青連木工教室の担当などです。

司会につきましては、ただでさえ口下手に加え慣れない理事会運営となり理事の皆様にはご迷惑をお掛けしてしまいました。今振り返ればあの時はこうすればよかったと後悔もありますが、皆様に助けられながらも乗り切ることが出来ましたことお礼申し上げます。

体験と学びの環境博(環境フェア)、信州山の日イベント、信州バザール木工教室の担当もさせていただきました。イベント開催日が被ってしまう事態もありましたが、皆様のご協力のおかげもあり無事に開催することができました。毎年椅子作りとマンネリ化の部分もありますがそれでも多くの方が足を運んで下さり木に向き合っている姿を見ると嬉しくなります。木青連活動には欠かせないイベントです。

昨年は台風災害に見舞われ、新年早々からの新型コロナウイルス大流行と日本のみならず世界中で各業界に大打撃を受けています。木材業界も同じです。令和新時代に入り早々の試練が立ち足ばかりでしたがONE TEAMとなって逆境にめげず助け合っていきましょう。

今年度一年大変お世話になりました。田中会長をはじめ理事メンバーまた会員の皆様のおかげで乗り切ることが出来ました。この場をお借りしお礼申し上げます。ありがとうございました。



令和元年度 長野県青壮年団体連合会  
木工工作担当 副会長

宮崎 淳貴

今年度は田中博文会長のもと、木工工作担当副会長を務めさせて頂きました。

本年行われました「第42回長野県児童・生徒木工工作コンクール」が、県内各地より参加学校数140校、総数4,279点もの作品の



応募を頂きました。その中から10月11日の審査会にて、厳正な審査のもと最優秀賞他が選ばれました。そして、11月2日信州パザール(やまびこドーム)内で最優秀賞・特別賞を受賞された児童・生徒の皆様をお招きし、表彰式を盛大に行う事が出来ました。また、その中の5作品を全国児童・生徒木工工作コンクール一次審査に応募したところ5作品すべてが一次審査を通過し、最終審査にて2作品が入賞する優秀な成績を修める事が出来ました。選ばれた児童・生徒の皆様はこの賞を誇りに思っており、自信を持って全国大会で行われる表彰式に臨んで頂きたいと思っております。

応募いただいたすべての作品が木材の良さを十二分に引き出し、子供たちの創造性に驚かされ、木材の新しい可能性を私たちが学ばせて頂けたと思います。そして、より多くの児童・生徒に木材に触れて頂くことにより、木材が様々な場面で将来の選択肢の一つになることを祈っております。

結びに、長野県木材青壮年団体連合会メンバーがそれぞれの持ち場を完璧にこなして頂いた事でスムーズな事業運営ができた事に深甚なる感謝を申し上げます。改めて長野県木材青壮年団体連合会メンバーのスキルの高さと団結力を実感できた一年となりました。そして、県内各地にて作品の審査、ならびに審査会への作品の持ち込みをして頂いた皆様、審査会・表彰式でご協力して頂いた会員の皆様をはじめとする関係各位に心から感謝申し上げます。

一年間、誠にありがとうございました。



日本木材青壮年団体連合会  
北信越地区協議会 会長

中澤 勝成

本年度は、北信越地区長として日本木青連に出向致しました。常任理事という非常に重要な立場でしたが、理事会にも数回しか出席することができず、全国大会・各地区大会・懇親会にも参加できず、北信越大丈夫か?と心配されるほど皆さんには大変ご迷惑おかけした事をお詫びいたします。

出向している人は皆それぞれの会社で重要なポジションを担い、大抵の人は大変多忙な方々ばかりです。そんな中でも、常任理事を受ける人たちは、ほぼすべての事業に参加されているのを見て、そういった方々の真似をして無理をしても、参加するべきなのか?

参加することで自分の為になるのか?

自社のプラスになる事があるのではないのか?

何もかかわらなければ楽しい。

でも、せっかくならかかわりを持った方が何かと楽しい。

いろいろと考えさせられる1年でした。

どちらにしても、社業あつての木青連活動です。これが最後の出向になると思いますが、まだ、出向経験のない会員の皆さん、一度は経験してみるのも悪くないと思いますの、是非チャレンジしてみてください。

最後に、北信越地区大会では、大変交通の便の悪い場所を選定してしまい、何かとご不便をおかけしました。地区大会は是非地元温泉宿で開催する。これだけを目指していましたので、皆さんのご協力のもと達成することが出来ました事、心より感謝いたします。

1年間ありがとうございました。



日本木材青壮年団体連合会  
木材活用委員会 副委員長

田中 俊章

令和元年度は木材活用委員会の副委員長として、昨年の同委員会委員長の立場から次年度の活動のサポート役として一年間を活動しました。

昨今の建築は木質化が非常に多くなってきており、今回の木材活用コンクールの応募数も例年と同じ170作品程度応募がありました。

非常に甲乙つけがたい作品ばかりで、受賞した作品はもちろん、惜しくも受賞から漏れた作品の中にも非常に優れた作品が多くありました。今後も益々建築の木質化が進むことと思います。

新型コロナウイルスの影響で、審査会も限られた人数と時間の中で行うこととなり、授賞式や作品説明会も中止とせざるを得なくなりましたが、今回の木材活用コンクールを終えることができました。これで、木材活用委員会委員長の役目が終わりの荷がおりました。

皆様のご協力に感謝を致します。一年間ありがとうございました。



日本木材青壮年団体連合会  
広報委員会 副委員長

印出 晃

今年度は、日本木材青壮年団体連合会広報委員会副委員長として、日本木青連に出向させて頂きました。

昨年度は木育推進委員会の副委員長として、第43回全国児童・生徒木工工作コンクールを成功させるべく委員会活動に従事していました。このため、全国大会が終了するまでは、本年度の広報委員会の委員会活動にはほとんど参加できずじまいでした。

広報委員会では、主な活動として、各委員会の活動の紹介や、壁掛けPRカレンダー、木製カレンダーの企画、製作、販売、ウッディーレターの発行があります。この中で本年度は北信越協議会の長野大会の報告書の原稿作成程度しか携わることができませんでした。

年度末には新型コロナウイルスの感染拡大により、全国大会も開催できない状況となってしまいましたが、その分、ネット会議やクラウドでのファイルの共有化なども会員の中で浸透してきています。全国に点在する会員、委員が一同に集まって会議をするのは、なかなか難しいことですが、このような便利なツールを使いながら、よりお手軽に、活発な意見交換、情報交換ができると、日本木青連活動もより身近になるのではないかと感じました。

私も長年日本木青連出向をさせて頂いておりますが、是非若い世代の方に積極的に出向して欲しいと思います。大変さよりも得るものの方が沢山あると思います。

気が付けば私も木青連の定年?をいつの間にか超えてしまいました。振り返るといい思い出しかありません。次の世代にバトンを譲って見守っていきたくところです。

今年も一年皆様にはお世話になりました。ありがとうございました。

# 第42回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業報告

※この事業は「長野県森林づくり県民税」を活用しています。

**【趣 旨】** 近年、インターネットや家庭用ゲーム機などの普及により自然素材を使った遊びなどが衰退してきてはいますが、日本建築や工芸品などの「木の文化」は徐々に受け継がれています。その文化や伝統もその素晴らしさを大切にできる心がなければいずれ枯れ果ててしまいます。

そのような中で、長野県木青連では、木の文化を継承する子供達の心を育てる意味でも木育推進事業の一環として長野県下の小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象とした「長野県児童・生徒木工工作コンクール」を開催し、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割等を一緒に学んでもらい木の文化を大切にしていっていただきたいと考え、標記事業を実施しました。

**【主 催】** 長野県木材青壮年団体連合会

**【共 催】** 長野県、中部森林管理局、(公財)長野県緑の基金、長野県県産材振興対策協議会、長野県木材協同組合連合会

**【後 援】** 長野県教育委員会、(財)長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、abn長野朝日放送、長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社

**【対 象 者】** 長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん

**【応募基準】** (1) テーマ／自由(ただし、木材を主材料として利用・加工した創作品であること)

(2) 大きさ／タテ・ヨコ・高さ それぞれ60cm以下とする。

(3) 締切り／令和元年9月27日(金)

(4) 送り先／最寄りの長野県木材青壮年団体連合会加盟の木材店まで

**【事業日程】**

年月日	場 所	内 容
令和元年 6月下旬	県下全域	長野県下の全学校長宛に案内送付各関係機関へ依頼書送付
7月～9月末	県下全域	木工作品製作(学校又は夏休み期間中)各材料の提供配布は地元会員が手配
9月27日	県下全域	作品応募締め切り(作品の回収)
9月28日～	県下全域	各地区審査会を実施
10月11日	松本市	長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会
10月21日～25日	長野市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を長野県庁1階講堂前にて展示
11月3日	松本市	松本市「やまびこドーム」信州バザール内にて表彰式
令和2年 1月19日	全 国	全国児童生徒木工工作コンクール 一次審査
3月1日	福島県	全国児童生徒木工工作コンクール 二次審査
6月13日	宮城県	全国児童生徒木工工作コンクール表彰式

**【審査基準】** 各学年としての発想に留意して、以下の各項を充たすもの。

また、小学校低学年(1～4年)、小学校高学年(5～6年)、中学校、盲・ろう・養護学校の以上4部門に分けて審査を行なった。

- ・子供の頭で考え、子供の手で作ったもの。
- ・木の持味を生かし独創性に優れていること。
- ・機能、デザインが優秀であること。
- ・工作技術が優秀であること。

**【審 査 会】** 令和元年10月11日(金) 松本合同庁舎(109会議室)

【審査委員】 審査委員長 長野県総合教育センター  
 専門主事 安松 大介 様

審査委員 長野県林務部 信州の木活用課  
 県産材利用推進室  
 課長補佐 久保田 淳 様

長野庁中部森林管理局 中信森林管理署  
 次 長 中村 栄一 様

(公財)長野県緑の基金  
 常務理事兼事務局 長 青森 淳 様

長野県木材協同組合連合会  
 理 事 長 宮崎 正毅 様

長野県県産材振興対策協議会  
 理 事 小島 和夫 様

長野県木材青壮年団体連合会  
 会 長 田中 博文 様  
 直前会長 澁澤 一吉 様  
 会長代行副会長 大藏 俊介 様  
 副 会 長 田村 紘一 様  
 副 会 長 宮崎 淳貴 様

計11名



外部審査委員(左手前から)

長野県総合教育センター 安松専門主事 様  
 長野庁中部森林管理局 中信森林管理署 中村次長 様  
 長野県木材協同組合連合会 宮崎理事長 様  
 長野県県産材振興対策協議会 小島理事 様  
 長野県林務部 信州の木活用課  
 県産材利用推進室 久保田課長補佐 様  
 (公財)長野県緑の基金 青森常務理事 様

【審査風景】 令和元年10月11日(金) 松本合同庁舎(109会議室)



【展示風景】 令和元年10月21日(月)～25日(金) 長野県庁1階ロビー



【表彰式】 令和元年11月3日(日) 松本市「やまびこドーム」信州パザール内



# 第42回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト

## 1. 最優秀賞（長野県知事賞）

作品名	氏名	学校名	学年
ティラノサウルスのあたま	浅井 太鷗	御代田町立御代田北小学校	3年
御代田真楽寺三重の塔※1	内堀 叶絆	御代田町立御代田北小学校	5年
木のぬくもりを音にのせて	深谷 礎	駒ヶ根市立東中学校	3年
果凜	鋤柄 有音	長野県松本養護学校	2年

※1. 全国児童・生徒木工工作コンクール「林野庁長官賞」受賞

## 2. 長野県教育委員会賞

作品名	氏名	学校名	学年
スタンドランプ	篠原 隆静	原村立原小学校	4年

## 3. 林野庁中部森林管理局 局長賞

作品名	氏名	学校名	学年
『年輪』※2	須田 蓮也	佐久穂町立佐久穂小学校	6年

※2. 全国児童・生徒木工工作コンクール「ウッドワン賞」受賞

## 4. 公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

作品名	氏名	学校名	学年
か木氷	高橋 鼓陽	南木曾町立南木曾小学校	4年

## 5. 長野県県産材振興対策協議会 会長賞

作品名	氏名	学校名	学年
原ばくドーム	森 樹生	茅野市立永明小学校	3年

## 6. 長野県木材協同組合連合会 理事長賞

作品名	氏名	学校名	学年
木もれ日 森の仲間達	白倉 陽彩	東御市立滋野小学校	5年

## 7. 長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

作品名	氏名	学校名	学年
きょうりゅう	小坂 瑛純	木曾町立福島小学校	4年

## 8. 優秀賞

作品名	氏名	学校名	学年
竜	丸山 大和	長野市立松ヶ丘小学校	4年
マリオのリズムをかなでるタワー	二本松大輝	長野市立裾花小学校	6年
二連水車としろかき風景	清水 大我	上田市立長小学校	5年
小さなぼくのいえ	植松 大和	富士見町立本郷小学校	3年
ぼくの夏休み	長田 涼羽	茅野市立湖東小学校	5年
椅子にも机にもなる!ニ段活脚机	千葉 菜摘	原村立原中学校	2年
メロンとパイナップル	西尾希々花	南木曾町立南木曾小学校	2年
伊勢エビ	松下 世	南木曾町立南木曾小学校	4年
たんぼぼ	鷹見 瑠我	南木曾町立南木曾小学校	5年
なぎそまち	鈴木 天翔	南木曾町立南木曾小学校	6年

### □第42回長野県児童・生徒木工工作コンクール内訳

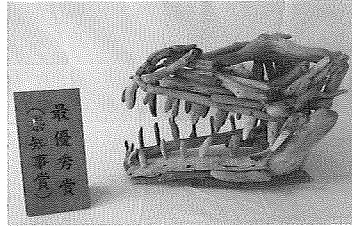
総参加人数		4,307名
参加 学校 数	小学校	138校
	中学校	1校
	盲・ろう・養護学校	1校
合計		140校

審査会出品数		63点
入選(左記の1~7)		10点
優秀賞		10点
佳作		556点
努力賞		3,703点
総作品数		4,279点

最優秀賞(長野県知事賞)

## ティラノサウルスのあたま

御代田町立御代田北小学校3年 浅井 太鷗



●作品を創ってみたいの感想

夏休みのしゅくだいに木工があったので きょうりゅうを作ってみようと思いました。

きょうりゅうに使う木は 家ぞく4人で探して、たくさんひろいました。

かっこよくできたので来年も作りたいです。

●一番見てほしいポイントは

一番見てほしいポイントは、歯です。ちゃんと歯に見える木を探しました。

●苦労した点は

きょうりゅうの頭の丸いあごの部分の木を探すのが 大へんでした。

でも、ちょうどよい木があってよかったです。

小さな歯を切ったり、ネジをはめる所は、お父さんとやりました。

●木に触れてどうでしたか

ザラザラした木や、ツルツルした木 いろいろな形の木があるんだなあと思いました。

最優秀賞(長野県知事賞) 全国児童・生徒木工工作コンクール「林野庁長官賞」

## 御代田真楽寺三重の塔

御代田町立御代田北小学校5年 内堀 叶絆



●作品を創ってみたいの感想

本当は 全部を再現したかったけど、昔の人が、くぎを使わずに使った通りに作るのむずかしかったです。

本物を見に行き できるかぎりやってみました。

自然の木をひろってくることも、夏休みの楽しみでした。

1年生のころから、木工工作を夏休みに作ってきて5年生になって、初めて、最優秀賞をいただいて、本当にうれしかったです。

ありがとうございます。

●一番見てほしいポイントは

一段目の中におじょうさんを入れた所です。空っぽにするのは、さみしくて、おじょうさんを石で作っ

て入れて見ました。

●苦労した点は

木の組み方を本物と同じにしたかったです。

ただ、自然の木が、まがったりいろいろな形なので、それをくみあわせるのに苦労しました。

●木に触れてどうでしたか

自然の木を使って作った中で感じたのは、固かったりやわらかかったり、すぐ折れてしまったり強く切れなかったり、いろいろな木があるということです。

中でも、木の皮は厚みも様々で、かわらにてきしている物と、てきしていない物があるということに気がつきました。

最優秀賞(長野県知事賞)

## 木のぬくもりを音にのせて

駒ヶ根市立東中学校3年 深谷 礎



●作品を創ってみたいの感想

この作品は今年の1月に行われた木工の全国大会に向けて作りました。自分で考えた設計を先生が修正してくださいました。県大会で作った作品よりも明らかに難しくなっていました。だから、作っている途中で何度も失敗したり けがをしそうになったりして、今までに感じたことのない緊張感を持ちました。それでも、その分全ての工程が終わったり、作品が完成した時には大きな達成感がありました。これから少しでも木に触れる機会があったら前向きに関わっていきたいと思います。

●一番見てほしいポイントは  
正面に見える赤いラインの象嵌です。この象嵌は日本の伝統技能です。見た目にアクセントをつけるため、青色の革を使った黒帯と赤色の象嵌で2本の線を取り入れました。

●苦労した点は

正面に見える赤いラインの象嵌です。この象嵌は日本の伝統技能です。見た目にアクセントをつけるため、青色の革を使った黒帯と赤色の象嵌で2本の線を取り入れました。

苦労した点は、「斜め削り」と「象嵌」です。

斜め削りは 正面の部分で2ヶ所に使われています。角度が決まってい、左右でずれないように、かんながけをするのが大変でした。

象嵌は デザインのために取り入れましたが、あるとないとは大きな違いがある程、大事なものです。

作業は 溝を掘ってから赤い板を埋め込むものです。簡単そうに思っていたのですが、細かい作業に、難しさを感じ、慣れるまでに時間がかかりました。

●木に触れてどうでしたか

今まで ほとんど経験していなかった貴重な体験をする事が出来、改めて日常と木の関係の大切さや、その歴史などを学べました。木の素晴らしさはいつの時代でも変わらない、そんな事を次の世代にも伝えていけたらと思います。

最優秀賞(長野県知事賞)

## 果 凧

長野県松本養護学校2年 鋤柄 有音



●作品を創ってみたいの感想

だんだんとできていく 姿を見てうれしかった。

エントリーできてうれしかったので、また取り組みたいです。

●一番見てほしいポイントは

上に乗っている「レモン」のような形のもので。

●苦労した点は

やすりがけが大変でした。

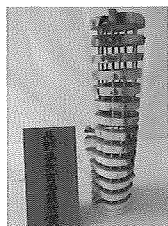
●木に触れてどうでしたか

いい臭いがして、ぬくもりがあった。

長野県教育委員会賞

## スタンドランプ

原村立原小学校4年 篠原 隆静



●作品を創ってみたいの感想

木工屋さんから使わない一位の木の丸太をいただきました。丸太をそのまま生かした、ランプが作れてこの木に灯りをとめて一生使えるスタンドランプが、できてよかったです。

夏休みに作ったスタンドランプがしょうをもらえて うれしかったです。

●一番見てほしいポイントは

暗い所でライトを点けた時の木と木の間からもれる あたかい灯りを見てほしいです。

●苦労した点は

わ切にした木と木に小さな穴をあけて細かいほうをさして木と木を何枚もつなぎあわせたところ。

こわれても作り直せるようにボンドを使いませんでした。

●木に触れてどうでしたか

最初はさわってみてザラザラしていたけど皮をむき やすりをかけたら、すべすべになり気持ちよかったです。

## 『年輪』

佐久穂町立佐久穂小学校6年 須田 蓮也



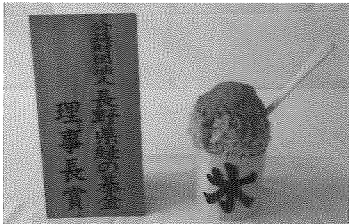
- 作品を創ってみたいの感想  
失敗が、いろいろあったけど竹やトラなどがリアルに出来たのでよかったです。  
去年よりクオリティーが上がって 自分でも満足が出来ました。
- 一番見てほしいポイントは  
トラの動物の年輪を少しずつずらして重ねた所です。
- 苦労した点は  
竹に絵の具を付け過ぎて ふき取ったらすぐ竹の色の感じが出来ました。  
年輪を重ねる時に、トラの体のイメージを出す時に大変

- 苦労しました。
- 木に触れてどうでしたか  
ゴツゴツした皮の付いた丸太を探すのに大変でした。

## 公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

## か木氷

南木曾町立南木曾小学校4年 高橋 鼓陽



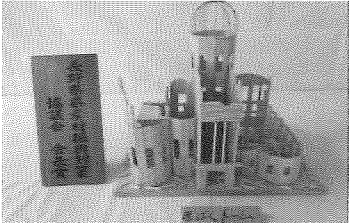
- 作品を創ってみたいの感想  
自分が思っていたよりも かんなくずが、きれいにかたまっただけよかったです。  
来年もがんばって作りたいです!
- 一番見てほしいポイントは  
おがくずに、ニスをまぜてシロップ見たいにした所。
- 苦労した点は  
かんなくずを氷の形にするのが むずかしかったです。

- 木に触れてどうでしたか  
最初にお父さんの知り合いの木工場におがくずや かんなくずを もらいに行った時木のいいにおいがしました。  
ただ、すてられてしまうのは、「もったいないな〜。」と思いました。

## 長野県産材振興対策協議会 会長賞

## 原ばくドーム

茅野市立永明小学校3年 森 樹生



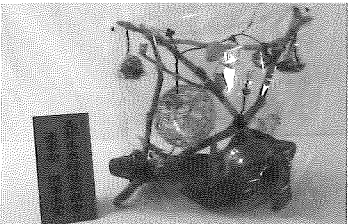
- 作品を創ってみたいの感想  
夏休みに家ぞくで広島に行きました。  
ばくは、原ばくドームを見て原ばくは、とてもこわいと思いましたが。  
それを形にしてみたいと思いました。  
このわりばしは、お母さんがはたいているラーメン屋のわりばしをリサイクルしました。  
ラーメン屋さんにお手紙を書いて、わりばしをもらいました。  
わりばしを箱いっぱいくれてありがとうございました。
- 一番見てほしいポイントは  
中心の丸い部分です。なぜなら、ピンを使いながらやっ

- たからです。  
もう一つのポイントは、外がわのかべの部分です。なぜなら、一つ一つ長さははかってボンドでつけたからです。
- 苦労した点は  
使ったわりばしは、ラーメン屋さんのものだったので、油を落とすのに苦労した。  
わりばしを同じ長さに切れなくて苦労しました。
- 木に触れてどうでしたか  
木工がこんなに楽しいとは、思ってもいなかったです。  
小さな木を組むことで、あんなに大きな物が作れるとは、思わなかったです。

## 長野県木材協同組合連合会 理事長賞

## 木もれ日 森の仲間達

東御市立滋野小学校5年 白倉 陽彩



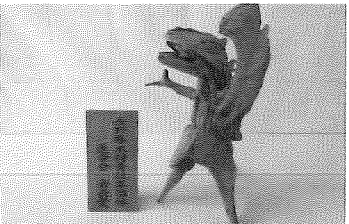
- 作品を創ってみたいの感想  
木だけでなく森の仲間たちをねん土で作ったのがよかった。  
毎年木工工作を作るのが楽しみです。
- 一番見てほしいポイントは  
光っているところや森の中をねん土で作ったところがポイント。  
つるを使って自分であんだところ。
- 苦労した点は  
木をひもでしばった所やねん土で形を作った所が苦労した。
- 木に触れてどうでしたか  
山の木や流木や松ぼっくりを集めてみて いろいろな物にふれて 光をともしたら温かった。

- 苦労した点は  
電動ドライバーで流木をネジで固定するのがむずかしくお父さんにおさえてもらいながら作りました。  
流木をきれいにあらうのも大変でした。
- 木に触れてどうでしたか  
流木は、いろいろな形があっておもしろい。  
ゴツゴツしている流木もあればツルツルしている流木もあった。

## 長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

## きょうりゅう

木曾町立福島小学校4年 小坂 瑛純



- 作品を創ってみたいの感想  
流木をひろげてみたら きょうりゅうの顔に見える流木があったのできょうりゅうを作ろうと思いました。  
その顔に合う体や手、足を組み合わせて、みつけたのがむずかしかったけど見つけ出した時はすごくうれしかったです。  
最高のきょうりゅうができました。
- 一番見てほしいポイントは  
アゴがピタッとはまった時がうれしかったのでアゴの部分です。  
きょうりゅうがガッツポーズしている所です。

- 苦労した点は  
電動ドライバーで流木をネジで固定するのがむずかしくお父さんにおさえてもらいながら作りました。  
流木をきれいにあらうのも大変でした。
- 木に触れてどうでしたか  
流木は、いろいろな形があっておもしろい。  
ゴツゴツしている流木もあればツルツルしている流木もあった。

# 信州山の日イベント2019[木工教室] 事業報告

## 事業報告書

【事業名称】 信州山の日イベント2019 木工教室

【実施日時】 令和元年7月28日(日) 10:00~16:00

【実施場所】 駒ヶ根ファームス ※小雨決行

【対象者】 一般(信州山の日イベント 来場者) 96名(60組)(大人57名、子供39名)

【担当】 田村 紘一

【事業主体】 長野県木材青壮年団体連合会

【趣旨目的】 県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に信州山の日PRや木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。

【事業内容】 長野県林務部が主催する「信州山の日イベント2019」で木工教室を開催。

ミニ椅子づくり(イスキット) 60セット

＜1回毎の講座内容＞

イス作り開始(50分)

※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

＜準備品＞

イスキット60セット/道具(カナヅチ、釘抜き等)/テント(主催者用意)/釘、紙やすり/コンパネ10枚/

ブルーシート/掃除道具/受付簿、整理券

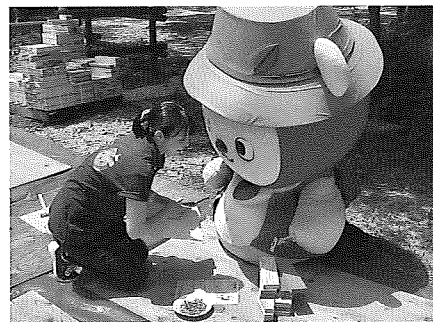
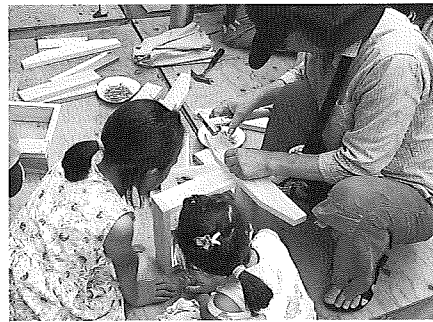
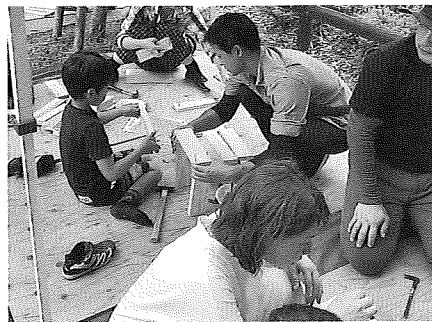
【スケジュール】 7月22日 8:45~ 集合・材料搬入

10:00 オープン

11:00~16:00 木工教室

16:00~ 片づけ、搬出

## 【当日の風景】



# 体験と学びの環境博(信州環境フェア2019)[木工教室]事業報告

## 事業報告書

【事業名称】 体験と学びの環境博(信州環境フェア2019) 木工教室

【実施日時】 令和元年7月27日(土)～28日(日) 10:00～16:00

【実施場所】 長野市 ビッグハット(若里多目的スポーツアリーナ)

【対象者】 一般(体験と学びの環境博 来場者) 173名(110組)(大人88名、子供85名)

【担当】 田村 紘一

【事業主体】 長野県木材青壮年団体連合会

【趣旨目的】 県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。また、同時に木育教室を開催し長野県の森林の状況や木材の使われ方などを知っていただく。

【事業内容】 昨年から名称を新たに「体験と学びの環境博」とし信州環境フェア実行委員会が主催する「体験と学びの環境博(信州環境フェア2019)」の中で木工教室・木育教室を開催。

ミニ椅子づくり(イスキット)2日間 110セット

〈1回毎の講座内容〉

①森林の話し(2分)

②イスの作り方(2分)木青連

③イス作り開始(46分) ※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

〈準備品〉

イスキット110セット/道具(カナヅチ、釘抜き等)/釘、紙やすり/コンパネ 10枚/ブルーシート/掃除道具/受付簿、整理券

【スケジュール】 7月26日 16:00～17:00 材料搬入

7月27日 10:00～16:00 (9:30集合)

7月28日 10:00～16:00 (9:30集合)

16:00～ 片づけ、搬出

### 〈木工教室開催時間〉

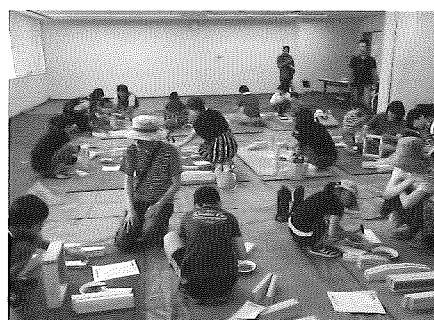
1回目 10:30～11:30 [15組]

2回目 11:40～12:40 [15組]

3回目 13:30～14:30 [15組]

4回目 14:40～15:40 [10組]

## 【当日の風景】





# 信州バザール2019[木工教室]事業報告

## 事業報告書

【事業名称】信州バザール2019 木工教室

【実施日時】令和元年11月2日(土)～3日(日) 10:00～17:00 最終日16:00

【実施場所】松本市 やまびこドーム

【対象者】一般(信州バザール 来場者)

【担当】田村 紘一

【事業主体】長野県木材青壮年団体連合会

【趣旨目的】県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木育事業の一環として、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら「ものを作る喜び」を知ってもらうとともに、森林の役割や木材の良さ及び利用方法等について学んでもらう。

【事業内容】信州バザール実行委員会が主催する「信州バザール2019」で木工教室・木育教室を開催。

ミニ椅子づくり(イスキット)2日間 75セット

今回は、参加費1,500円でキットを購入いただき、ミニ椅子づくりを行った。

※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

・広さ:約10m×10m

〈準備品〉

イスキット75セット/道具(カナヅチ、釘抜き等)/釘、紙やすり/コンパネ /ブルーシート/

掃除道具/整理券

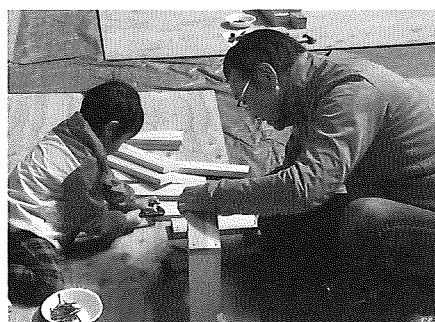
【スケジュール】11月1日 材料搬入

11月2日 10:00～17:00 (9:30集合)

11月3日 10:00～16:00 (9:30集合)

16:00～ 片づけ、搬出

## 【当日の風景】



# 令和元年度事業実施報告書



北信木青連 会団長  
山崎 泰雄

令和1年度、北信木青連の会団長を、皆様のご協力のお陰で何とか1年務めさせて頂きました。

今年度は、平成から令和へと元号が変わり、新しい時代の幕開けの年となりましたが、昨年10月に起きた台風被害において、長野県は甚大な被害をうけました。我々が中心に活動しております長野市においても、多くの住宅、企業が浸水被害を受け、当会の会員の中にも被害を受けた方もおり、大変な1年になってしまいました、当会がお預かりした木工工作コンクールの作品も浸水被害を受け、生徒さんに作品を返却出来ない事態となり大変申し訳なく思っております。改めて被害を受けられた方にお見舞いを申し上げます。

復興も未だ道半ばの状態ですが、我々が携わる木材業界も少しでも役に立てるよう、皆さんで協力していただけたらと思っております。

そんな中ですが、会団の活動は会員の方のご協力のお陰で、例年の様に活動することができました、会員の方には各地での木工教室を中心に、1年間大変お世話になりました。

私は、今年度を持ちまして北信木青連の会長を退任させて頂く事になりました、会員の皆様には大変助け頂き本当に感謝しております。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

## 北信木青連 PR事業 事業報告

【事業名】木育事業

【日時】令和元年9月14日(土) 9:00～13:00

【場所】長野市立城東小学校

【参加者数】(来場者数)

城東小学校生徒及び保護者 約50人

【内容・題材】木工教室を開催。

・本棚作り(本棚キット) 40セット

＜講師内容＞

①本棚の作り方説明(5分) 木青連

②本棚作り(45分) 木青連はサポート

③箸作りは随時受付 木青連はサポート



【事業名】長野市農業フェア(木工教室)

【日時】令和元年10月5日(土) 9:00～13:00

【場所】長野市役所 第一庁舎西側広場

【参加者数】(来場者数)

一般(農業フェア来場者) 約100人

【内容・題材】木工教室を開催。

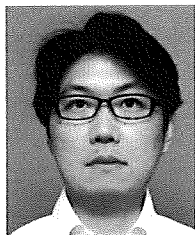
・イスの作り方説明(5分) 木青連

・イス作り(45分) 木青連はサポート

※木青連は、参加者の椅子づくりをサポート



# 令和元年度事業実施報告書



東信木青連 会団長  
松木 達征

東信地区の木材業諸先輩方に誘われ木青連に加入し2年。これほど地域とつながり、木材業界の発展のため尽力されているとは正直驚きでした。イベントでは毎回沢山のお客様が来場され、木に触れ楽しんでいる姿を見て感動を覚えるとともに、木がいかに愛されているか知る事ができました。

全世界でSDGsへの取り組みが叫ばれている中、木材人として、自分に何が出来るか考えていましたが、この木青連の活動に答えがあるような気がしています。

積極的に外に出て、子供から大人まで広く木の良さを啓蒙し、触れ合い、知る機会を設ける。そして、木材がいかに自然のサイクルに組み込まれた循環する建材だという事を訴求していく。木を愛し、木とともにある我々木材人だからできる事。これこそが木材業界が取り組むべきSDGsの土台になるのではないかと、木青連の活動を通して強く感じました。

そんな考えのもと、少しでもSDGsの精神を体現しようと考え、2019年度では、東信の会団長を拝命し微力ながら活動に尽力しましたが、まだまだ諸先輩方に比べ知識、力不足を痛感している次第です。しかし、不安はありません。東信木青連、県会員の皆様、果ては全国に広がる志を同じくした先輩方が沢山いらっしゃいます。先輩方の背中から多くを学び今後も木材人として木青連の活動に尽力したいと思います。

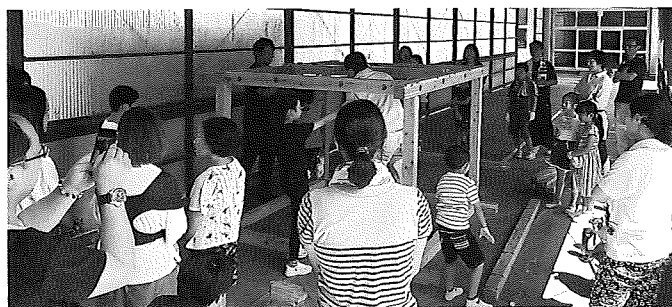
最後になりますが、東信木青連会員の皆様。こんな拙い会団長を1年もの長きに渡り支えて頂きありがとうございました。

## 東信木青連 PR事業 事業報告

- 【事業名】佐久バルーンフェスティバル2019[木工教室]  
【日時】令和元年5月3日(金)～4日(土) 9:00～17:00  
【場所】佐久市 千曲川スポーツ交流広場  
【参加者数】(来場者数) 310人  
【内容・題材】木工教室を開催。  
・小椅子づくり(イスキット)2日間 310セット  
※木青連は、参加者の椅子づくりをサポート



- 【事業名】木育事業  
【日時】令和元年7月26日(金) 9:00～12:00  
【場所】上田市立北小学校  
【対象者】北小学校児童および保護者一般 約31名  
【内容・題材】・ミニチュアハウスづくり  
・なべしきづくり



- 【事業名】森林フォーラムin佐久[ミニチュアハウスづくり]  
【日時】令和元年9月21日(土) 10:00～15:00  
【場所】佐久市 市民交流広場  
【参加者数】(来場者数) 20人  
【内容・題材】ミニチュアハウスづくりを開催。  
※木青連は、参加者とミニチュアハウスづくりをサポート

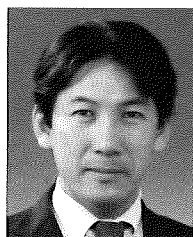


ミニチュアハウスづくり

ごち餅まき

ミニチュアハウス完成品

# 令和元年度事業実施報告書



松本材青会 会团长  
小林 稔政

福井大会の折、日本木青連の副会長を務めさせて頂いてから、材青会も若手の皆さんにお任せで活動できない状態が続いておりました。若手会員の脱会が続き、まさかの2回目の会团长をお願いされることになり、1年が経ちました。

会团长をお受けするにあたり、会団の活動は必要最小限にすることを条件とさせていただきましたが、会員の皆様には満足のいく活動ができなかったことをお詫び申し上げます。池田副会团长には私の至らない点をほとんどカバーしていただき感謝します。また県の活動に対しても積極的に関わらず、田中会長を始め執行部の皆様にご迷惑をお掛けしたことをお詫びします。

次年度は再び2度目の会团长を田中一興君が受けて頂きました。また長野県木青連の会長に大蔵俊介君が立って頂きました。執行部も多数輩出し、材青会の活動と二束の草鞋になり昨年度よりも大変な年になると思います。

会团长の時に積み残した課題を含め、皆さんを支えることをお約束し、一年の振り返りとさせていただきます。ありがとうございました。

## 松本材青会 PR事業 事業報告

【事業名】木工教室出前講座用椅子キット提供(納品)

【日時】松本市開智小学校

令和1年9月10日(火) 16:00～  
松本市明善小学校

令和1年9月30日(月) 16:00～

【場所】松本市開智小学校・松本市明善小学校

【参加者数】開智小98名・明善小79名

【内容・題材】椅子づくり体験 177セット  
県産材による椅子作り



【事業名】親子木工教室

【日時】令和元年9月7日(土) 8:30～16:00

【場所】松本市 あがたの森公園

【参加者数】(来場者数)

約100人

【内容・題材】椅子づくり体験 40セット

県産材による椅子作り

※会団員は、参加者の作り方説明とサポート



# 平成30年度 臨時理事会 議事録

日時／令和元年5月25日(土) 場所／長野市 ホテル国際21

## 【出席者】

◎会 長	澁澤 一吉
直前会長	田中 一興
監 事	齋藤 篤
監 事	寺西 勝
◎代行副会長	田中 博文
◎副 会 長	土倉 宜也
◎副 会 長	降幡 聡
◎北信木青連 会団長	山崎 泰雄
◎北信木青連 副会団長	宮澤 遥
◎東信木青連 会団長	田村 紘一
◎東信木青連 副会団長	土屋 善樹〈欠席〉
◎松本材青会 会団長	佐原 弘一〈欠席〉
◎松本材青会 副会団長	大藏 俊介
◎事務局 長	宮崎 淳貴
事務局次長	峯村 亮〈欠席〉
事務局次長	山浦 豊弘
事務局主事	松本 寿弘
日本木青連 出向 木材活用委員会 委員長	田中 俊章
日本木青連 出向 会団長	澁澤 一吉
日本木青連 出向 木材活用委員会 副委員長	土倉 宜也
日本木青連 出向 木材活用委員会 副委員長	寺西 勝
日本木青連 出向 木材活用委員会 委員	宮崎 淳貴
日本木青連 出向 木育推進委員会 副委員長	印出 晃
オブザーバー	日野原和仁

出席者数11名 ◎印は理事

議長指名 会長より代行副会長を指名

議事録作成指名 宮崎事務局長

定足数確認 理事11名中、理事9名出席 出席者18名 欠席3名 成立致します。

連絡報告事項 <字句訂正> なし

第1号議案 平成30年度 第4回定例理事会議事録(案)承認の件  
渋沢会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第2号議案 平成30年度 決算(案)承認の件  
澁澤会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

議事録作成人 平成30年度 事務局 長 宮崎 淳貴

# 令和元年度 臨時理事予定者会議 議事録

日時／令和元年5月25日(土) 場所／長野市 ホテル国際21

## 【出席者】

◎会 長	田中 博文
直前会長	澁澤 一吉
監 事	土倉 宜也
監 事	降幡 聡
◎代行副会長	大藏 俊介
◎副 会 長	宮崎 淳貴
◎副 会 長	田村 紘一
◎北信木青連 会団長	山崎 泰雄
◎北信木青連 副会団長	宮澤 遥
◎東信木青連 会団長	松木 達征
◎東信木青連 副会団長	小林 寿徳〈欠席〉
◎松本材青会 会団長	小林 稔政〈欠席〉
◎松本材青会 副会団長	池田 剛
◎事務局 長	山浦 豊弘
事務局次長	中島 章
事務局次長	池田 剛
事務局主事	松本 寿弘
日本木青連 出向 北信越地区協議会 会長	中澤 勝弘
日本木青連 出向 会団長	田中 博文
日本木青連 出向 木材活用委員会 副委員長	田中 俊章
日本木青連 出向 木材活用委員会 委員	峯村 亮〈欠席〉
日本木青連 出向 広報委員会 副委員長	印出 晃
日本木青連 出向 広報委員会 委員	大和 俊介〈欠席〉
オブザーバー	日野原和仁

出席者数11名 ◎印は理事

議長指名 会長より代行副会長を指名

議事録作成指名 山浦事務局長

定足数確認 理事11名中、理事9名 出席者18名 欠席4名 成立致します。

連絡報告事項 <字句訂正> なし

第1号議案 令和元年度 理事予定者会議議事録(案)承認の件  
田中会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第2号議案 令和元年度 事業予算(案)承認の件  
田中会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

議事録作成人 令和元年度 事務局 長 山浦 豊弘

# 令和元年度 定時総会 議事録

日時／令和元年5月25日(土) 場所／長野市 ホテル国際21

出席者23名(総正会員数31名中) 委任状8名  
 北信木青連9名(本人出席7名 委任状2名)  
 東信木青連11名(本人出席10名 委任状1名)  
 松本材青会11名(本人出席6名 委任状5名)  
 事務局主事 松本 寿弘  
 共立プランニング 日野原和仁

司会進行 H30年度事務局 長 宮崎 淳貴  
 議長 第1号議案・第2号議案 澁澤 一吉  
 第3号議案 田中 博文  
 資料字句訂正箇所 なし

# 令和元年度 第1回理事会議 議事録

日時／6月7日(金)

場所／上田市 ささや

## 【出席者】

◎会 長	田中 博文
直前会長	澁澤 一吉
監 事	土倉 宜也
監 事	降幡 聡〈欠席〉
◎代行副会長	大藏 俊介〈欠席〉
◎副 会 長	宮崎 淳貴
◎副 会 長	田村 紘一
◎北信木青連 会 団 長	山崎 泰雄
◎北信木青連 副 会 団 長	宮澤 遥
◎東信木青連 会 団 長	松木 達征
◎東信木青連 副 会 団 長	小林 寿徳〈欠席〉
◎松本材青会 会 団 長	小林 稔政〈欠席〉
◎松本材青会 副 会 団 長	池田 剛〈欠席〉
◎事務局 長	山浦 豊弘
事務局次長	中嶋 章
事務局次長	池田 剛〈欠席〉
事務局主事	松本 寿弘
日本木青連 出向 北信越地区協議会 会長	中澤 勝成〈欠席〉
日本木青連 出向 会 団 長	田中 博文
日本木青連 出向 木材活用委員会 副委員長	田中 俊章〈欠席〉
日本木青連 出向 木材活用委員会 委員	峯村 亮〈欠席〉
日本木青連 出向 広報委員会 副委員長	印出 晃
日本木青連 出向 広報委員会 委員	大和 俊英〈欠席〉
オブザーバー	日野原和仁

出席者数13名 ◎印は理事

議長指名 会長より田村副会長を指名

議事録作成指名 山浦事務局長

定足数確認 理事11名中、理事7名 出席者13名 欠席9名 成立致します。

字句訂正 なし

第1号議案 平成30年度臨時理事会・令和元年度臨時理事予定者会議・定時総会議事録(案)承認の件  
田中会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第2号議案 令和元年度PRカレンダー斡旋事業(案)承認の件  
田中会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第3号議案 第42回児童生徒木工工作コンクール開催(案)承認の件  
宮崎副会長より上程

松本事務局主事より  
審査会は早めの開催、表彰式は信州パザールで木工教室と一緒に  
行うなら11/2(土)か3(日)。  
土倉監事より  
人が集まれば信州パザールでなく、別の日程でもどうか。

審査会は10/11(金)松本で行う。表彰式は第2回理事会で改めて決める。

挙手にて採決 挙手多数 承認

第4号議案 信州山の日2019木工教室(案)承認の件  
田村副会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第5号議案 体験と学びの環境博(信州環境フェア2019)木工教室(案)承認の件  
田村副会長より上程  
田村副会長より  
二日目の7/28(日)が信州山の日本工教室と被るので、一日目  
7/27(土)は全会団で、二日目7/28(土)は信州環境フェアを北信  
会団に、信州山の日本工教室を東信会団、松本会団にお願いしたい。

挙手にて採決 挙手多数 承認

第6号議案 役員選考委員会設置(案)承認の件  
田中会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第7号議案 第2回定例理事会開催日(案)承認の件  
田中会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

協議事項 交流会について・OB会について  
田中会長より  
10月頃にゴルフコンペを行ったらどうか。

協議事項 PRカレンダー以外の商品販売について  
宮崎副会長より  
日本木青連で販売しているパッチを販売したらどうか。

議事録作成人 令和元年度 事務局 長 山浦 豊弘

# 令和元年度 第2回理事会議 議事録

日時／7月12日(金)

場所／上田市 ささや

## 【出席者】

◎会 長	田中 博文
監 事	土倉 宜也
監 事	降幡 聡
◎代行副会長	大藏 俊介
◎副 会 長	宮崎 淳貴
◎副 会 長	田村 紘一
◎北信木青連 会团长	山崎 泰雄〈欠席〉
◎北信木青連 副会团长	宮澤 遥〈欠席〉
◎東信木青連 会团长	松木 達征〈欠席〉
◎東信木青連 副会团长	小林 寿徳
◎松本材青会 会团长	小林 稔政
◎松本材青会 副会团长	池田 剛
◎事務局長	山浦 豊弘
事務局次長	中嶋 章
事務局次長	池田 剛
事務局主事	松本 寿弘
日本木青連 出向 北信越地区協議会 会長	中澤 勝成
日本木青連 出向 会团长	田中 博文
日本木青連 出向 木材活用委員会 副委員長	田中 俊章〈欠席〉
日本木青連 出向 木材活用委員会 委員	峯村 亮〈欠席〉
日本木青連 出向 広報委員会 副委員長	印出 晃〈欠席〉
日本木青連 出向 広報委員会 委員	大和 俊英〈欠席〉
オブザーバー	日野原和仁

第4号議案 関係諸団体との親睦事業計画(案)承認の件  
田中会長より上程

- ・プレー終了後から懇親会の時間間に合わない。
- ・南信からも来て欲しいので場所変更どうか。
- ・日曜なので宿泊厳しい。懇親会に人数集まりにくいのでは。
- ・人数はともかく20日で開催なら開催した方がよい。

挙手にて採決 挙手多数 承認

第5号議案 第3回定例理事会開催日(案)承認の件  
田中会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

協議事項 なし

議事録作成人 令和元年度 事務局長 山浦 豊弘

出席者数15名 ◎印は理事

議長指名 会長より大藏代行副会長を指名

議事録作成指名 山浦事務局長

定足数確認 理事11名中、理事8名、出席者15名 欠席3名 成立致します。

字句訂正 ・P35木工教室 出欠状況等について 信州環境フェア2019の備考欄  
29日は北信木青連対応の29日を28日に変更

第1号議案 第1回定例理事会議事録(案)承認の件  
田中会長より上程

挙手にて採決 挙手多数 承認

第2号議案 第60回県会員北信大会 収支決算(案)承認の件  
土倉監事より上程

- 土倉監事より
- ・講演会の時間早めにやる方がいい。多くの方に来てもらうために
  - ・来年度はコンサートなどと日程被らないように。

挙手にて採決 挙手多数 承認

第3号議案 第42回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業計画(案)承認の件  
宮崎副会長より上程

- 松本事務局主事より
- ・審査会会場 松本合同庁舎を押さえるのに90日前など、条件が厳しい為来年度は審査会会場を変えた方がよい。

挙手にて採決 挙手多数 承認

# 令和元年度 第3回理事会議 議事録

日時／11月29日(金)

場所／長野県林業センター

## 【出席者】

◎会 長	田中 博文
直前会長	澁澤 一吉
監 事	土倉 宜也
監 事	降幡 聡
◎代行副会長	大藏 俊介
◎副 会 長	宮崎 淳貴
◎副 会 長	田村 紘一
◎北信木青連 会团长	山崎 泰雄
◎北信木青連 副会团长	宮澤 遥
◎東信木青連 会团长	松木 達征
◎東信木青連 副会团长	小林 寿徳
◎松本材青会 会团长	小林 稔政〈欠席〉
◎松本材青会 副会团长	池田 剛
◎事務局長	山浦 豊弘
事務局次長	中嶋 章
事務局次長	池田 剛
事務局主事	松本 寿弘
日本木青連 出向 北信越地区協議会 会長	中澤 勝成
日本木青連 出向 会团长	田中 博文
日本木青連 出向 木材活用委員会 副委員長	田中 俊章〈欠席〉
日本木青連 出向 木材活用委員会 委員	峯村 亮
日本木青連 出向 広報委員会 副委員長	印出 晃〈欠席〉
日本木青連 出向 広報委員会 委員	大和 俊英〈欠席〉
オブザーバー	日野原和仁

出席者数15名 ◎印は理事

議長指名	会長より大藏代行副会長を指名
議事録作成指名	山浦事務局長
定足数確認	理事11名中、理事10名、出席者18名、欠席4名 成立致します。
字句訂正	・日本木青連から資料の追加
第1号議案	第2回定例理事会議事録(案)承認の件 田中会長より上程  挙手にて採決 挙手多数 承認
第2号議案	信州山の日2019【木工教室】事業報告並びに収支決算(案)承認の件 田村副会長より上程  ・宮崎副会長→収支決算 支出の部 備品、雑費の予算が40,000円に対し決算8,436円はなぜか？ 松本事務局主事→テント代が掛かる場合があるので。  挙手にて採決 挙手多数 承認
第3号議案	体験と学びの環境博(信州環境フェア2019)【木工教室】事業報告並びに収支決算(案)承認の件 田村副会長より上程 ・山崎会团长→山の日、環境フェア 日程がかさなり大変。 年々木工教室の参加人数が減っているの、内容を変更したらどうか？  挙手にて採決 挙手多数 承認
第4号議案	信州バザール2019【木工教室】事業報告並びに収支決算(案)承認の件 田村副会長より上程  ・松本会团长→材種の違いを説明し、教える(アピール)など、したらどうか。 ・池田副会团长→救急箱の設置をした方がよい。  挙手にて採決 挙手多数 承認
第5号議案	令和元年度 第4回定例理事会開催(案)承認の件 田中会長より上程  挙手にて採決 挙手多数 承認
協議事項	・北信越地区協議会長野大会について  中澤北信越地区協議会会長→記念講演で、SDGsゲームは最低でも48人の出席が必要、講師依頼の金額もかかるがどうか？  金額面、県内でSDGsの講演者がいないのでSDGs委員長に講演依頼かけるか？  人数・長野会員の全員登録のお願い、金額・登録料を上げる決定。

議事録作成人 令和元年度 事務局長 山浦 豊弘



# 令和元年度 第4回理事会議 議事録

日時/2月15日(土)

場所/湯田中温泉 よろずや

## 【出席者】

◎会 長	田中 博文
直前会長	澁澤 一吉
監 事	土倉 宜也
監 事	降幡 聡
◎代行副会長	大藏 俊介
◎副 会 長	宮崎 淳貴
◎副 会 長	田村 紘一
◎北信木青連 会団長	山崎 泰雄
◎北信木青連 副会団長	宮澤 遥
◎東信木青連 会団長	松木 達征
◎東信木青連 副会団長	小林 寿徳
◎松本材青会 会団長	小林 稔政
◎松本材青会 副会団長	池田 剛
◎事務局 長	山浦 豊弘
事務局次長	中嶋 章
事務局次長	池田 剛
事務局主事	松本 寿弘
日本木青連 出向 北信越地区協議会 会長	中澤 勝成
日本木青連 出向 会団長	田中 博文
日本木青連 出向 木材活用委員会 副委員長	田中 俊章〈欠席〉
日本木青連 出向 木材活用委員会 委員	峯村 亮
日本木青連 出向 広報委員会 副委員長	印出 晃
日本木青連 出向 広報委員会 委員	大和 俊英〈欠席〉
オブザーバー	日野原和仁

出席者数20名 ◎印は理事

議長指名	会長より大藏代行副会長を指名
議事録作成指名	山浦事務局長
定足数確認	理事11名中、理事11名、出席者20名、欠席2名 成立致します。
字句訂正	
第1号議案	令和元年度 第3回定例理事会議事録(案)承認の件 田中会長より上程  挙手にて採決 挙手多数 承認
第2号議案	令和元年度PRカレンダー・幹旋事業決算報告(案)承認の件 大藏代行副会長より上程  挙手にて採決 挙手多数 承認
第3号議案	令和元年度木工工作コンクール決算報告(案)承認の件 宮崎副会長より上程  挙手にて採決 挙手多数 承認
第4号議案	令和2年度長野県木青連役員(案)承認の件 田中会長より上程  挙手にて採決 挙手多数 承認
第5号議案	令和2年度理事予定者会議開催(案)承認の件 大藏代行副会長より上程  挙手にて採決 挙手多数 承認
第6号議案	令和2年度県会員東信大会開催(案)承認の件 田中会長より上程  挙手にて採決 挙手多数 承認

議事録作成人 令和元年度 事務局長 山浦 豊弘



# 日本木材青壮年団体連合会 環境憲章

## 【理 念】

日本木材青壮年団体連合会(日本木青連)は、類まれなる環境性能を有する木質資材を扱う“木財人”として、長期的な視野に立って、更なる地球規模での環境保全に取り組み、循環型経済社会の形成を通じて、人類と森林と地球が調和する豊かな未来に貢献します。

～私たちは、木材が人類共有の財産であることから、その持続的な利活用を目指す会員を“木財人”と称しています～

## 【基本方針】

### 1.《木材利用の地球環境貢献》

木材利用の促進を通じて、地球環境に貢献する事業を推進します。

- ①木材製品の炭素貯蔵による地球環境貢献効果を正しく理解し、高炭素ストック社会の形成を目指して、木材利用の促進に努めます。
- ②木材加工の省エネルギー性能を正しく理解し、低炭素排出社会の形成を目指して、更に環境負荷の小さい木材製品と、その生産、流通技術の開発に努めます。
- ③地球上の健全な炭素循環における森林の役割を理解し、木材の持続可能な利用によってその機能が最大限に発揮される観点から、森林による炭素吸収源の拡大に貢献します。

### 2.《事業活動》

事業活動全般において、環境法令の遵守と一層の環境負荷の低減に努めるとともに、日本木青連会員全体の環境管理レベルの向上を図ります。

- ①有毒物質の適正管理、3Rの推進(リデュース、リユース、リサイクル)による省資源を推進します。
- ②会員への環境教育を推進し、環境保全意識の高揚を図ります。
- ③ビジネスパートナーと協働して、木育活動などの環境保全活動を推進します。
- ④合法木材の利用を推進します。

### 3.《社会活動》

森林資源の有効な循環利用を通じて地球環境保全を推進します。

- ①木材の利用促進を通じて、循環型経済社会の形成に努めるとともに、持続可能な企業価値向上と会員の社会貢献への意識を高めます。
- ②行政機関、地域、関係団体と連携して、環境保全活動に積極的に参加、支援します。
- ③社会と協調して豊かな地域環境の実現を目指した環境活動に取り組みます。

### 4.《情報発信》

正確な環境情報を開示するとともに、フィードバック情報を環境活動の改善に活かします。

- ①環境情報を積極的に公開し、社会との環境コミュニケーションを推進します。
- ②木材製品における温室効果ガス排出量等の「見える化」に努めます。
- ③環境行動計画を公表し、計画的かつ継続的な環境活動を推進します。

制定 2010年 6月19日

日本木材青壮年団体連合会  
平成21年度会長

久我 洋一

